

# 経営支援ニュースレター

Tokyo  
Metropolitan  
Consulting  
Group

※※御社の経営に役立つ情報を、毎月わかりやすくまとめてお伝えします※※

＜今月の主な内容＞

- スタッフ通信を今月より始めました。
- 顧問先紹介第一弾「株式会社マングローブ」さん
- 書籍紹介:文句なしに凄い「ここまで『気がきく人』」
- TMニュース:「給与革命」大幅リニューアルのご案内
- 付録:マングローブセミナー「強い組織を作る要因とは?」他

東京メトロポリタン税理士法人

TMコンサルティング(株)／(株)クック 経 理

代表／税理士 北岡 修一

## 今月から、弊社「スタッフ通信」を同封します！

こんにちは。税理士の北岡修一です。

顧問先から最近のニュースレターは、少し固くなり過ぎていたのでは、という意見がありました。自分ではあまりそうは思わなかったのですが、「このようにしていくべきだ!」みたいなのを書き過ぎてしまったかも知れません。

その考え方自体は変わりませんが、お伝えの仕方を少し変えていこうかと思えます。

このニュースレターは、私およびTM(東京メトロポリタン税理士法人)と、皆様方のお付き合いを円滑にしていくために発行しています。その目的にそって、今月から、下記のようなこともやっていきます。

TMのことをより皆様知ってもらい、親しみを持ってもらうことができれば嬉しいな、と思っております。

ということで、今月もよろしく願いいたします。

### ■スタッフ通信、始めます。

今月から「スタッフ通信」を同封しています。是非、ご覧ください。この「スタッフ通信」は、私は一切かわらずに弊社のスタッフ皆で作成することになりました。写真なども入れ、弊社の雰囲気やどんなスタッフがいるのか、その素顔は?みたいなことも伝えていければと思っています。

第1号は、税務会計スタッフの笠原恵が担当しています。とにかくやってみよう、ということで始めました。まだまだ固いかも知れませんが、スタートしました!ということだけでも、ご評価いただけたら嬉しいです。ご感想やリクエスト(誰を出せなど…?)なども、是非、お気軽にお寄せください。

私ども会計事務所というのは、どうしても顧問先と担当者という、1対1の関係になってしまいがちです。そうなると特定の顧問先のことは、その担当者しか知らない、という状況になってしまいます。顧問先の方も、TMというよりも、担当の〇〇さんとだけの関係になってしまいがちです。これでは、せっかく税理士法人にして、組織でやっている意味がなくなってしまいます。事務所の中では、チーム制をとったり、プロジェクトを作ったり、複数で知恵を合わせて仕事を進めていく体制をとっています。是非、担当者だけでなく様々なスタッフがいることも知っていただければありがたいです。その意味でも、スタッフ通信でメンバーを紹介していきたいと思えます。

**事務所一体となって、顧問先の成長・発展を徹底支援していくこと**、これが私たちの目指す方向です。その一貫としてもこのニュースレターとスタッフ通信を続けていきますので、今後とも何卒よろしくお願いいたします。

## ■顧問先紹介も、始めます。

スタッフだけでなく、顧問先の紹介もしていきます。もちろん、許可を得て紹介しますので、お願いした際には是非、よろしく願います。また、紹介して欲しいという方がいらっしゃいましたら、こちらも是非お申し出ください。当社がその顧問先とこんな仕事をしている、といったことも紹介できればと思います。

まず、トップバッターは、今回チラシを挟んでいる株式会社マングローブさんです。

### <顧問先紹介>

- 会社名：株式会社マングローブ
- 最寄駅：JR飯田橋駅徒歩6分
- 業種：人事コンサル（採用、教育、人事制度、人材紹介など）
- 社員数：30人
- 代表者：代表取締役 今野 誠一

マングローブさんは、あの人材輩出企業で有名なリクルートの出身者で作った会社です。社長の今野さんは、さらにリクルートの中でも人事に長く携わっていたというから、人事のプロ中のプロです。

さすがにリクルート出身者の会社だけあって、会社に行くとき皆のモチベーションが高いのなんのって、圧倒されてしまいます。しょっちゅう会社の中でお祭り騒ぎ？をやっています。今年凄かったのが決算報告会です。決算報告を皆の前でやるからと呼ばれて行ってみたら、何と「納税祭り」というお題目になっている。どうしたことかと思っていたら、今年も利益が出て納税できることを、皆でお祝いしよう！ということなんです。納税をお祭りにしてしまうなんて、前代未聞、聞いたこともないです。そしてさらにそれを題材に社員が自主映画を作って上映して、皆で大盛り上がり

です。本当にもう、税務署・国税庁から表彰ものですね！いつも私が「税金を払わないと内部留保ができないから、税金を払いましょう。」と言っていますが、ここまでやってくれれば、ビックリすると同時に、嬉しいですね。

もちろん、納税だけではなく、いくら利益が出たら全員に決算賞与が〇カ月分、いくら以上になったら〇〇旅行、とか発表があり、それでまた社員が大盛り上がりです。業務終了後、ビールを飲みながらのお祭りだったので、なお更ですね。これは、社員のモチベーションをいかに上げていくかの1つのイベントであり、その他にもマングローブさんではいろいろな施策をやっています。

このようなことを、お客様に指導していくのがマングローブさんの仕事でもあります。お客様の指導の前に、まずは自分たちの会社で行なって理想的にしていく、これは本当に大事なことです。自社でできないことを他社に教えることはできないからです。たとえば、当社が会計理念のことを顧問先に伝えるには、自社の会計を良くしていかなければ、当然いけないのと同じですね。

マングローブさんは、このような社内の教育研修や、人事制度のしくみづくり、その会社への落とし込み、さらに採用全体の支援や人材の紹介なども行なっています。人に関することすべて、といってもいいと思います。社内の活性化をしたい会社の方などは、是非、相談すると良いと思います。会社の規模は問いません。小さいところ(20人位)から、大きな会社まで、会社に合わせた人事面のサポートをしています。

そのマングローブさんが今秋から積極的にセミナーをやっています(同封チラシ参照)。まずは、皆様に人事の基本的なことをお伝えしよう、ということで無料でセミナーをやっています。興味のある会社の

方は、是非、一度参加してみると良いと思います。なお、参加するときは、TMのニュースレターを見たと言ってくださいね。よろしくお願いします。

## ■月次決算会議のやり方

当社はマンガローブさんでは、月次決算会議の推進をやらせていただいております。当社にも何とリクルート出身のスタッフ(成田なおみ)がいて、彼女がメインでマンガローブさんを担当しています。成田が月に何回か訪問し、会計処理の支援から月次決算資料まで作成しています。月次決算会議においてはその進行などもやっておりますので、何だかTMのスタッフというよりも、マンガローブの雰囲気に入り込んでおり、向こうの社員になってしまうのではないかと、心配している?くらいです(笑)。でも、その位密着してやっていきたい、というのがTMの考え方でもあります。

この月次決算会議のやり方は、ある意味理想的でもあります。まずは、実績報告はもちろん、かなり部門別、業務別に落とし込んだ資料を作って発表しています。単なる結果報告ではなく、前月&累計の実績は、どの部分が良くて、どの部分が悪いのかそのような結果になっているのか、これがわかるように報告をしています。そこまでわからなければ、次月以降に活かしていくことができません。

さらに、今月以降決算までの予想数字を入れます。年初の計画の修正を毎月行なっているという形です。これを業務別・顧客別に担当者がLANで共有ファイルに数字を入れ込んで集計して毎月発表しています。いわゆる「読み」といっており、常に決算数値までが見えるので、どのような対策が必要かは自ずとわかってきます。これを元に、弊社の樋口税理士も入り、毎月討議して対策を立てているわけで

すね。会議はマネージャークラスですが、数字は全社で作っており、会社一丸で数字を共有している状態になっています。これであれば、本当に強い集団ができていくと思います。

手前ミソですが、人事のマンガローブさんと会計のTMが組んで、最強の会社を作る、そんな感じでこれからもやっていけたらと思っています。

今野社長、今後ともよろしくお願いします。

## ■書籍紹介「ここまで気がきく人」

「気がきく人」とは、どういう人だろう、というのは何となく私の中で1つのテーマになっていました。そんな折り、本屋さんで何気なく次の本を見つけたので読んでみましたが、「なるほど、気がきくとは、こういうことなのか!」と大変よくわかった本です。面白かったので、ご紹介します。



文句なしに凄い!ここまで「気がきく人」

著者: 山形 琢也

出版社: 三笠書房

価格: 1,400円+税

著者は、仕事ができる人、将来が有望な人には共通する特徴がある、と言います。それは、そういう人たちは例外なく、「気がきく人」である、ということです。気がきく人というのは、まわりの状況がよく読めて、その場ですばやく適切な処置がとれる人です。仕事になればこの心の持ちようは「問題意識」ということになります。常に何が問題なのか、何をしなければいけないのかを考える意識になることにより、気のきいた仕事ができる、ということです。

この気がきいた人、気がきかない人の例を、様々な仕事や生活の場面で具体例として示してくれるのがこの本です。実例が多いので気軽に楽しく読める

のがいいですね。気がきく人の例も参考になりますが、気がきかない人の例の方が実は面白かったり、参考になったりします。

この本の中で、特に私が気に入ったのが次の言葉です。

**「できる人」ほど大胆で緻密、「ダメ人間」ほど小心で大雑把。**

その例として、業界で大胆な経営をするのでよく知られている社長の話が紹介されています。この会社はバックの製造卸の会社です。社長は確かに突拍子もない、業界の常識にとらわれない経営をして、業績も良いようです。しかし、毎日やることといえば、商品を期日にちゃんとわたせるか、管理はちゃんとできているか、など細かいことの積み重ねです。社員のことや商品のこと、お金のことを事細かに注意している、雑事の連続だと言うわけです。それができていなければ大胆な経営も何もない、その前に倒産です。世の中の仕事は、90%が現場の雑事から成り立っているといつていい。**大胆な経営をする人は、現場の雑事に細心の注意を払う。それが細心であればあるほど、残りの10%で大胆なことができるのだ...**

これは、本当にその通りだと思いますね。雑事かどうかは知りませんが、基本的なこと、やるべきこと、ルーチンの業務、これらが90%であり、これをとにかく完璧にこなすことが、どんな企業でもまずは大切だと思います。その残った10%で創造的なことをやっていく、このように数字で割り振ってみるとより腑に落ちるような気がします。「大胆にして細心であれ」というのは、大胆が10%で細心が90%ということになりますが、皆さんの感覚ではいかがですか？

いずれにしても、凡事徹底、当たり前のことを当たり前前にやる、こういったことが「気がきく人」になることにつながっていくのですね。

## ■ TMニュース

最後に、今当社で取り組んでいるトピックスなどもお伝えしていきたいと思います。今後、TMニュースということでお伝えします。

### ●「給与革命」大幅リニューアル開発中！

当社では1997年より、Excelで使う“簡単給与計算ソフト”「給与革命」を開発・販売しています。このレターを送っている多くの会社にもご利用いただき、誠にありがとうございます。販売10年も過ぎたことから、今回、内容を大幅にバージョンアップします。50人位までの小さな会社向けに、実務で使うのに本当に便利なユニークな機能をつけたソフトに仕上がってきています。私ども中小企業の経理の現場に密着した会計事務所が作るからには、徹底的に現場の立場で作っているつもりです。今年の年末調整に合わせ、11月末にはリリースしますので、是非ご期待いただければと思います。今まで使われていない会社の方も、興味がありましたら是非お問い合わせください。

### ●ホームページリニューアル準備中！

上記給与革命バージョンアップに合わせ、その販売元であるティーエム・コンサルティング株式会社のホームページ(<http://www.tmcg.co.jp>)をリニューアル準備中(12月オープン)です。また、東京メトロポリタン税理士法人の下記ホームページも、来年1月より内容を大幅に変更します。また、ご案内します。

ということで、今回も最後までお読みいただきありがとうございます。

#### ●ご意見、ご感想、ご質問は、下記まで。

東京メトロポリタン税理士法人 <http://www.tm-tax.com>  
 株式会社クイック経理 <http://www.quick-a.co.jp>  
 発行人：代表/税理士 北岡修一 [kitaoka@tmcg.co.jp](mailto:kitaoka@tmcg.co.jp)  
 〒163-1304 新宿アイランドタワー4F 私書箱1653  
 TEL: 03-3345-8991 FAX: 03-3345-8992